

平成29年度

教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に係る点検・評価調書

釜石市教育委員会



# 目 次

はじめに	1
基本目標2 絆と支えあいを大切にするまちづくり	3
1 安心できる子育て環境の整備	3
2 学びが実践につながる生涯学習社会の形成	3
基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり	10
1 地域との協働による特色ある教育活動の展開	11
2 生活・防災拠点としての教育環境整備	12
基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり	14
1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	14
教育行政に関する事項	18
資料	19
「平成29年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」有識者からの意見聴取会意見（要点）	22



## はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、平成 29 年度の教育委員会の管理及び執行の状況に係る点検及び評価結果を取りまとめたものです。

点検及び評価に当たっては、平成 23 年 12 月 22 日策定の「釜石市復興まちづくり基本計画スクラムかまいし復興プラン」の進行管理と連動するよう、同計画の「復興まちづくりの基本目標」に基づいて整理しました。

- 点検及び評価は、2 段階で実施しており、第 1 段階として、「釜石市復興まちづくり基本計画スクラムかまいし復興プラン」の 7 つの「基本目標」のうち、3 つの「基本目標」における「取組項目」の結果を個別に評価した上で、第 2 段階として 3 つの「基本目標」のそれぞれを総合的に評価しました。

なお、「取組項目」としての位置づけではないため、点検及び評価の対象ではありませんが、別途教育行政に関する事務や平成 29 年度から組織機構の見直しにより市長部局へ移管した事務についても取り組み状況をまとめています。

## 釜石市教育委員会委員名簿

委員	太田悦子
委員	佐藤猛夫
委員	市川淳子
委員	鈴木勝
教育長	佐藤功

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

**第 26 条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」(抜粋)

目指すべき釜石の将来像：三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石

○ 7つの基本目標 (枠で囲んでいるのが、点検・評価の対象とした基本目標)

基本目標1：暮らしの安全と環境を重視したまちづくり

基本目標2：絆と支えあいを大切にすまちづくり

安心できる子育て環境の整備

(実施施策)・被災した幼稚園の整備

学びが実践につながる生涯学習社会の形成

(実施施策)・公民館や図書館など学習機能の早期復旧

・ライフステージに応じた学習機会の創出

基本目標3：生活の安心が確保されたまちづくり

基本目標4：人やもの、情報の交流拠点づくり

基本目標5：ものづくり精神が息づくまちづくり

基本目標6：強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

地域との協働による特色ある教育活動の展開

(実施施策)・地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

・教育関係機関と連携した心のケアの継続

生活・防災拠点としての教育環境整備

(実施施策)・防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設

・命を守る教育の推進

基本目標7：歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

歴史遺産の活用と芸術文化の振興

(実施施策)・橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用

・郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援

・埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧

スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

(実施施策)・スポーツを通じた市民の健康づくりの推進

・スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

## 基本目標2 絆と支えあいを大切にするまちづくり

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴住居幼稚園の新園舎での保育開始や、各幼稚園舎の適切な維持管理により、子育て環境の改善に努めた。また、平田幼稚園のこども園化の取り組みにより更なる子育て環境の改善が見込まれる。</li> <li>・ 各種生涯学習事業の実施により、様々な世代のニーズに合わせた生涯学習の機会の提供に努めた。</li> <li>・ 学校や地域住民との連携・協働により、放課後等の子どもの活動拠点づくりや、学習支援体制づくりなどに努めた。</li> <li>・ 公民館や図書館など施設の老朽化が進んでいることから、維持補修を実施し利用者の安全性と利便性の向上に努めた。今後も計画的な維持補修や抜本的な建て替えを行っていく必要がある。</li> </ul>	

取組項目	個別評価
1 安心できる子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴住居幼稚園は、園舎の適切な維持管理に努めた。</li> <li>・ 平田幼稚園は、園舎の適切な維持管理に努めるとともに、こども園化に向けた取り組みを行った。</li> </ul>
2 学びが実践につながる生涯学習社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民のニーズや置かれた環境に即し、ライフステージに応じた学習機会の提供を行うとともに、公民館においては地域のニーズに応じたきめ細かな事業実施に努めた。</li> <li>・ 地域の協力を得ながら、子どもたちの安心安全な居場所づくりに努めた。</li> <li>・ 図書企画展や市民教養講座の開催、移動図書館車の運行、ブックスタート事業など読書活動を推進し、様々な世代のニーズに合わせた生涯学習の機会と場の提供に努めた。</li> </ul>

### 【取組項目】

#### 1 安心できる子育て環境の整備

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
被災した幼稚園等の整備	<input type="checkbox"/> 鶴住居幼稚園 4月から新園舎での保育を開始し、適切な維持管理を行った。  <input type="checkbox"/> 平田幼稚園 平成30年4月からのこども園化に向け、庁内各関係課との調整を図りながら、園舎をこども園とするために必要な整備等を行った。  <input type="checkbox"/> 自動体外除細動器（AED）の設置 機器の適正管理に努めるとともに、AEDの操作を含めた、救急講習を行い、幼稚園教諭の応急処置に関する知識を深めた。	<input type="checkbox"/> 園舎の適切な管理を行う。  <input type="checkbox"/> 機器の適正な管理を行うとともに操作研修等を継続して行う。

#### 2 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
公民館や図書館などの早期復旧	<input type="checkbox"/> 公民館・分館維持管理 公民館（7館）及び分館（7館）の維持補修等を必要に応じて行った。	<input type="checkbox"/> 特に公民館分館は、いずれも老朽化、経年劣化が激しいため、緊急度を勘案して維持

- 中村分館特設公衆電話回線修繕
- 甲子公民館の基礎修繕
- 大石地域交流センター増築  
支援によるセンター増築を計画し、10月に完成した。

<公民館・分館利用者数>

22年度	23年度	…	27年度	28年度	29年度
21,397人	52,312人		60,414人	68,105人	75,017人

- 図書館の環境整備  
利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、図書館の環境整備に努めた。
- 飲食コーナーの設置  
長時間利用者等への配慮のため飲食コーナーを設置し、場所を限定して館内での飲食を許可した。
- 施設改修工事の実施  
危険防止のため、外壁タイル改修工事及び屋上防水改修工事を実施した。
  
- 図書館サービスの充実  
各種サービスの充実を図るとともに、講演会の開催や資料の展示・提供など多様な学習機会を提供した。
- 企画展：23回  
読書への関心を深めるため、当館独自の企画展や県立図書館の巡回展を開催した。  
・「岩手の山々」図書展・「大岡信」図書展・「ブックブックこんにちは」図書展・「がまだせ！熊本応援展」・「企画展 おいしいと元気を支える丈夫な歯」・「自然・生活環境展」・「七夕図書展」・「東南アジア図書展」・「想い出の中の釜石展」・「はっけよい！大相撲展」・「ラグビーワールドカップ・カウントダウン資料展2017」 ほか
- 講演会等  
市民の学習活動を支援するため多様な学習の場を提供した。  
《講座：10回/283人参加》  
・「釜石の文学碑を訪ねて」・「釜石を歩いた柳田国男と佐々木喜善」及び「釜石方言」物語・「お天気大好きおじさんのお天気教室」・「俳句の楽しみ方」 ほか  
《講習会：3回/23人参加》  
・「図書修理講習会」・「朗読技術講習会」・「16ミリ映写機操作技術講習会」  
《学習支援：5回/42人参加》  
・「夏・冬休み宿題応援勉強会」・「中・高校生のための学習会」
- ブックスタート事業：23回/334人参加  
読み聞かせや絵本のプレゼントを通して、本に親しむことの大切さを伝えるとともに、親子のふれあい創出の一助とした。  
・もぐもぐごっくん教室と併催・6ヶ月健診と併催
- 映画会等：11回  
優れたアニメ等の映画ビデオの上映を通して、図書館利用の促進を図った。  
・としょかん映画会：150人観覧
- 出張！図書館サービス（旧名称：出前お楽しみ会）16回

補修や建て替えを計画することとし、平成30年度においては甲子砂子渡分館の建て替え工事を実施予定。

- 図書館は、経年劣化が進んでいるため、緊急度や優先順位を総合的に判断の上、計画的な維持補修を実施する。



/267人参加

生涯学習文化スポーツ課やボランティア団体と連携し、図書館を利用する機会が少ない方々のところに出向き、読み聞かせやDVD等を上映した。

○手作り絵本教室：2回/参加者41人

絵本への愛着とものを作り上げる喜び（達成感）を感じてもらう機会とした。

・夏季教室（2日間）・冬季教室（2日間）

○図書館こどもまつり：参加者60人

多読賞の表彰、人形劇、映画上映、スタッフ体験を通して、親子で図書館に親しむ機会とした。

○体験学習等：11回/参加者351人

図書館についての理解を深めるための学習機会を提供した。

・中学生職場体験学習・教職経験者社会体験研修・施設見学

○ふれあい通信の発行：4回

図書館の利用案内や催事情報などの提供のため学校を通じて市内全小学生に配布するとともに、館内掲示やホームページ掲載を行い、図書館の利用促進を図った。

○移動図書館の運行 2,178人利用/6,122冊貸出

市内遠隔地や福祉施設、学校等市内78ヶ所を巡回した。

○団体貸出：通年/343件貸出

市内小学校や幼保施設、読書ボランティア団体などを対象に図書館資料を貸出した。

○朗読奉仕：12回

朗読奉仕「ハマナスの会」の協力により、地元紙の一部を朗読して録音し、希望者20人に定期的に送付した。

○おはなし広場：12回

「颯・2000の会」の協力により、来館した幼児・児童に絵本の読み聞かせを定期的に実施した。

<図書館年間利用人数及び貸出冊数>（移動図書館含む）

22年度	23年度	…	28年度	29年度
27,635人	22,432人		25,418人	25,196人
92,205冊	75,234冊		86,575冊	83,835冊

ライフステージに応じた学習機会の創出

□ 家庭教育子育て支援事業

○就学時健診を利用した子育て学習講座

元気な命のリズムは「早寝・早起き・朝ごはん」から4回/対象者164人

①11.14(火)/双葉小/双葉小35人

②11.28(火)/甲子小/甲子小47人

③11.29(水)/鶴住居小/鶴住居小25人 栗林小6人

④12.5(火)/平田小/平田小34人 唐丹小13人 白山小4人

○家庭教育・子育て支援担当者研修会

5.31(水)/3人参加

○沿岸南部地区子育て支援ネットワーク研修会

9.30(土)/2人参加(子育て支援施設職員含む)

○社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

11.24(金)、12.2(土)/1人参加

○子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅱ

□小学校入学前の子どもを持つすべての親を対象に実施している講座であり、就学前の保護者が集まる有効な機会なので、今後も継続して実施する。

2.22 (木) 1人参加

□ 学校支援地域本部事業

地域と学校の連携・協働による子どもの学習支援体制（本部）をつくり、地域コーディネーターの配置・企画調整のもと、地域住民等からなるボランティアの参画を得ながら様々な学校支援活動を行った。

〔実施校〕 釜石小学校、栗林小学校

〔活動回数（2校）〕 397回

〔地域住民等の参画人数（2校）〕 延5,192人

〔運営協議会〕

○釜石小学校支援地域本部地域教育協議会

①5.12(金)/釜石小学校/委員等7人出席

②2.20(火)/釜石小学校/委員等10人出席

○栗林小学校支援地域本部地域教育協議会

①2.27(火)/栗林小学校/委員等9人出席

〔研修等〕

○学校支援地域コーディネーター等研修会

6.15(木)/県生涯学習推進センター/3人出席

○学校と地域の連携・協働のための研修会

8.9(水)/県生涯学習推進センター/4人出席

○沿岸南部・宮古地区コーディネーター合同研修会

10.11(水)/市教育センター/7名出席

○コーディネーター視察訪問対応

10.23(月)/市教育センター/県生涯学習推進センター職員による/3人対応

○学校と地域の協働推進事業研修会

11.21(火)ほか/大槌学園ほか/3人出席

□ 教育振興運動

各実践区において、5者それぞれの役割を果たしながら相互に連携して地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図るため、研修機会の提供、情報提供や情報交換、実践区活動再構築への支援、運営経費への補助等を行った。

〔時期〕 通年

〔対象〕 子ども、親（家庭）、教師（学校）、地域、行政

〔内容〕 協議会総会、集約集会の開催、各実践区による活動、全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」の普及啓発

〔研修・協議会集会〕

○教育振興運動市町村担当者研修会

5.17(水)/県立生涯学習推進センター/2人出席

○管内推進研修会

6.6(火)/大船渡市立三陸公民館/22人出席

○釜石市教育振興運動協議会推進委員会

6.14(水)/市教育センター/21人出席

○釜石市教育振興運動協議会総会

6.27(火)/沿岸広域振興局/68人出席

実践区グループワーク

○釜石市教育振興運動協議会集約集会

（釜石市PTA 連合会研究発表大会と合同開催）

開催/2.3(土)/沿岸広域振興局/81人出席

活動発表：栗林小学校「地域全体で子どもを育てる教育文化の継承」

□ 既実施校では安定継続を基本に実施していくとともに、本事業の効果や、次期学習指導要領でも掲げられる「社会に開かれた教育課程」、また、本事業を基盤として進められる地域学校協働活動の観点を踏まえながら、実施校の増加を図る。（H30は鶉住居小学校で新規実施）

□ 本運動の中心となる実践区では、今後も工夫された多様な実践活動の展開が期待されるが、子どもを支える4者（親、学校、地域、行政）の関わりの強化を図りながら、本運動を通じ地域全体で子どもを育てる体制をさらに醸成していく。

講話：「みんなが主役！これからの学校・地域づくり  
～地域学校協働活動への期待～」  
学習講座：「今の状況がわかる！RWC2019釜石開催」  
○教育振興運動だより8/1号発行

□ 放課後子ども教室推進事業/通年/357回開催

子どもたちが安心して遊び学ぶことができる教育環境を確保するため、放課後等における活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を設置し、地域住民等の参画を得て、自由活動の見守りや多様な学習機会（体験学習・スポーツ等）を提供した。

全体としては、教室1回あたりの子どもの参加人数や地域住民等の活動協力者数は前年度比増となっており、子どもと地域を結び、地域の中で学び育つ場としての理解浸透が図られている。

また、新たな場所での教室の実施（かっしっこひろば、前年度まで同地区仮設住宅で実施）や、他の教室の活動協力者との交流機会の開催等、前年度の課題に対応した取り組みを行えた。

〔対 象〕 子ども、地域住民

- ① 「ばしょまえ交流館」  
釜石小学校区/カトリック釜石教会/週2回
- ② 「ふたば放課後子ども教室」  
双葉小学校区/双葉小学校地域連携施設/週1回
- ③ 「小佐野放課後ひろば」  
小佐野小学校区/小佐野公民館/週2回
- ④ 「平田 MOSICA」  
平田小学校区/平田復興住宅集会室/週1回
- ⑤ 「かっしっこひろば」  
甲子小学校区/甲子公民館/週1回
- ⑥ 「鶴住居子どもひろば」  
鶴住居・栗林小学校区/仮設住宅談話室ほか/週3回

〔特別企画〕

- 三陸こどものまち  
3.4(日)/釜石大観音仲見世通り/教室参加児童の企画運営による疑似店の実施、市内事業所等の参画による一般参加型の職業体験の実施/約200名参加

〔研修等〕

- 安全管理員研修・交流会  
9.20(水)/市教育センター/23名出席

【放課後子ども教室利用者数】

22年度	23年度	…	28年度	29年度
3,018人	335人		3,930人	4,435人

□ 子どもの読書活動推進事業

学校、図書館、ボランティア団体との連携により、子どもの感性、表現力、想像力の豊かさを育む読書活動を推進した。また、研修会等へ参加し、それぞれのスキルを高めることができた。

- 絵本カーによる活動 19カ所/258回/延べ2,822人利用  
仮設住宅談話室、学童育成クラブ、子育て支援センターなどを巡回して本の読み聞かせなどを実施した。

□ 活動協力者が減となる等、各教室単位では種々の課題もあるため継続安定的な実施の確立や、仮設住宅を会場とする教室では、今後の地域コミュニティの再編状況にも留意し中長期的視点をもちながら実施していく。

□ 第3次子どもの読書活動推進計画(H27.4)に基づき、各関係機関等とさらに連携強化を図り事業を推進していく。

- 絵本カー利用者懇談会  
6. 12 (金) /盛岡市中央公民館/2人参加
- 管内子どもの読書活動推進会議  
5. 10 (水) /釜石広域振興局/4人出席
- 読書ボランティア研修会 (県推進センター会場)  
6. 20 (火) /県立生涯学習推進センター/10人参加 (読書ボランティア含む)
- 読書ボランティア研修会 (沿岸南部会場)  
8. 23 (水) /大船渡市立三陸公民館/2人参加
- 読書ボランティア研修会 (宮古会場)  
9. 12 (水) /宮古市市民文化会館/3人参加

国際理解支援事業

市国際交流協会との共催事業や外部からの支援事業を活用しながら、各種講座やイベントを実施した。

○初級英会話講座「初級英会話講座」

① (2コース)

- ・昼コース 5. 9(火)～7. 11(火) 10:30～11:30/毎週(火)/受講者8人/のべ76人受講
- ・夜コース 5. 11(木)～7. 13(木) 19:00～20:00/毎週(木)/受講者6人/のべ41人受講

② (1コース)

- ・10. 10(火)～12. 12(火) 10:30～11:30/毎週(火)/受講者10人/のべ86人受講

※各コースとも全10回

○English Camp in IWATE 2017

※アールラム大学、岩手大学主催事業

11. 11(土)～12(日)/国立岩手山青少年交流の家/  
市内中学生6人、市関係者2人参加

こどもエコクラブ

自然の中での様々な体験活動を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動ができる資質を育むことを趣旨に、関係団体の協力を得ながら初めて実施するプログラムも取り入れ実施した。

[内容/開催日/場所/参加者数]

- ①「川にすむ生きもの探検隊！」 7. 30(日)/小川川(ワッカラ淵)/23人参加
- ②「磯学び探検隊！」 9. 16(土)/両石湾磯辺/23名参加/グリーンリンケージと共催
- ③「虫さがしおさんぽ会」 10. 28(土)/栗橋公民館中村分館周辺/22人参加/かまめっちょの会と共催
- ④「かまいしバードウォッチング」 2. 17(土)/大渡橋下川辺付近/9人参加

岩手大学生涯学習講座

H29は実施せず。

立正大学デリバリーカレッジ

市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとするため開催した。

[場所] 市教育センター5階

[対象] 高校生以上の市民

[内容/開催日/受講者数]

外国人と触れあう機会となり、参加者からは継続した実施を望む声が多く聞かれており、今後も各種団体と連携して、事業を推進する必要がある。

主たる対象である小学生の参加が減少傾向にあるため、対象範囲や実施方法等について見直しを行うとともに、環境課事業等との整理・共有等、統一性をもち実施する。

今後の講座の在り方について大学と協議を行った上で講座を実施。

各回の受講者は例年よりも減少した。(例年中高年齢層が多くを占めることや、平成30年度は10回目の釜石開催であることから、参加者の拡大を図つ

- ①「モチ文化と変動する生産地」/6. 3(土)/18人受講
- ②「集中力・忍耐力を育む」/6. 10(土)/19人受講
- ③「楽しいまちづくり、生活づくりのヒント」  
6. 17(土)/14人受講

□ 生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題を考える機会とし、参加団体、講座メニューともに充実を図り、定期的な利用が行われるようになった。

〔学習メニュー〕

市によるもの66講座、関係機関によるもの21団体89講座計153講座登録

〈まちづくり出前講座実施回数及び受講者数〉

22年度	23年度	…	28年度	29年度
67回	16回		79回	56回
2, 236人	850人		2, 157人	1, 607人

□ 自主活動グループ等によるコミュニティ形成支援事業

○交流会の開催

〔時期〕3. 4(日)(釜石公民館)

3. 10(土)(鶴住居公民館)

〔場所〕釜石地区、鶴住居地区

〔対象〕上記地区再建者、自主活動グループ

〔内容〕公民館まつりを母体とし、地区の再建者と自主活動グループの住民間の交流会を実施、今後のコミュニティ活動の一助となった。

○視察研修会の実施

11. 4(金)~5(土)/ 花巻市湯口振興センター/公民館長3人、担当職員2人

視察内容:公民館まつりを通して地域のコミュニティの在り方について学んだ。

た結果、受講申込みが増えたほか、20代の若者の参加もあった。) )

□29年度から、震災復興支援協定締結先の学校法人龍澤学館のメニューを新たに追加した。利用者は28年度より低調になってしまったことから、出前講座の周知や利用方法について、利用者目線で利用しやすさを図る。

□生活再建の中で新たなコミュニティづくりが課題となっている。今回の開催した事業によりコミュニティづくりの一助となったことから、今後は地域や公民館事業において推進する。

## 基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力を得て、各学校でいのちの教育・かまいしコミュニティスクール推進事業を推進した。各学校地域の特色に応じた活動を工夫することができた。郷土を知り、自他を大切にしようとする心を育てる教育活動を展開し、強く生き抜く力を育む教育を推進することができた。</li> <li>・「かまいし絆会議」を立ち上げた。平成31年度に開催されるRWC2019に向け、児童生徒がどのような形で参加できるのかを自分たちで考えながら取り組むことができている。</li> <li>・児童生徒に寄り添った心のケアを推進することができた。スクールカウンセラーの支援を受け、個の状況に応じた対応を進めることができている。</li> <li>・「魚のまち」としての意識醸成を図るため、地元水揚げ食材を使用した給食を提供し、生産者と一緒に食することで地場産物への興味を引き出すことができた。 また、「食に関する指導」により、児童生徒が地元食材への関心を深め、生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。</li> <li>・防災教育を核としたいのちの教育に取り組み、命を守る力を身に付けさせるように努めた。</li> <li>・新共同調理場の設計業務を進め、平成32年4月の供用開始に向けた「学校給食センター整備事業」の進捗が図られた。</li> </ul>	

取組項目	個別評価
1 地域との協働による特色ある教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力を得るとともに、地域に働きかけたり、ともに活動したりしながら、各学校でいのちの教育・かまいしコミュニティスクール推進事業を推進した。郷土芸能や産業学習、鉄に関する学習、仮設住宅等でのボランティア活動など、各学校地域の特色に応じた活動を工夫することができた。自分たちの住まう郷土を知り、自他を大切にしようとする心を育てる教育活動を展開し、強く生き抜く力を育む教育を推進することができた。</li> <li>・自分たちが地域のために何ができるかを仲間とともに考え、実践していくことを通して、よりよい学校づくりに生かすとともに、将来の地域を担うリーダーとしての資質・能力を育てることを目的に「かまいし絆会議」を立ち上げた。今年度は平成31年度に開催されるRWC2019に向け、どのような形で参加できるのかを自分たちで考えながら取り組むことができている。</li> <li>・日常の心のサポートと心のサポート授業の両輪で児童生徒に寄り添った心のケアを推進することができた。スクールカウンセラーの支援を受け、個の状況に応じた対応を進めることができている。</li> <li>・給食時間を活用して市民の「魚のまち」としての意識醸成を図ることを目的に、地元水揚げ食材を使用した給食を提供。生産者も一緒に食することで地場産物への興味を引き出すことができた。</li> <li>また、学校を訪問した「食に関する指導」を行うことで、児童生徒が地元食材への関心と生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。</li> </ul>
2 生活・防災拠点としての教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの教育研修会を実施し、それを踏まえて各学校で実態に即した計画のもとに防災教育を核としたいのちの教育に取り組み、命を守る力を身に付けさせるように努めた。</li> <li>・唐丹地区学校は、平成30年2月に全ての工事が竣工し、教育環境整備の推進が図られた。</li> <li>・新共同調理場の設計業務を進め、平成32年4月の供用開始に向けた「学校給食センター整備事業」の進捗が図られた。</li> </ul>

【取組項目】

1 地域との協働による特色ある教育活動の展開

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
<p>地域づくりに寄与する、各学校の特色をいかした教育の推進</p>	<p>□ 釜石市「いのちの教育」実践  「自他の命を守るために、主体的に行動することができる子ども」を育てるために、教育活動全体で防災教育を核とし、自他の命を尊重する心を培うとともに、地域の人や自然、自然災害に対する理解を深めながら、主体的に自分で判断し行動することができる資質や能力を育てる。」ことを目的に、実践を深めた。  【実施校】小学校：全9校・中学校：全5校  【事業実践例】釜石市立大平中学校  ・防災授業 1年生「簡易トイレ設置実習」など、2年生「キャップハンディ体験」、3年生「米の炊き出し実習」  ・総合防災訓練  指示系統の確認、避難者対応のしかた、救急対応、心肺蘇生・AED処置法、避難スペース設置 等  ・復興学習「ボランティア活動」  地域の方々と語る会、仮設住宅の草取り、施設の窓拭き、ゲーム交流、車椅子清掃、合唱披露、ソーラン披露</p> <p>□ かまいしコミュニティスクール推進事業  各小・中学校において、「地域に元気を与える」「郷土釜石の理解を深める」などの、学校と地域と協働で取り組む活動等を推進した。  【実施校】  ・小学校：全9校・中学校：全5校  【事業内容】  地域住民との交流活動、学校広報の発行と地域への配布、協働による花壇整備活動、地域清掃活動、地域施設を利用した体験活動、地域理解活動、地域行事を通じた交流活動、郷土芸能伝承活動、防災学習、鉄作り、鉄の学習、ラグビー部活動、地域住民参加合同運動会等</p> <p>□ かまいし絆会議 3回/70人参加  各小・中学校児童生徒の代表が集まり、RWC2019へ向けて、自分たちでどのような取り組みができるのかを話し合ったほか、各学校ごとの取り組みを紹介した。  【RWC2019に向けた取組み内容】  ・全小・中学校が共通して取り組むもの  帆立貝の貝殻を使った巨大壁画（モザイクアート）の作成、「ありがとう」の思いを込めたビデオメッセージの作成。  ①8.1（火）/生徒10人参加 ②12.26（火）/児童生徒33人参加③2.16（金）/児童生徒27人参加</p> <p>□ 学校給食への地場産食材利用  農産物について、農林課の協力を得て産直の食材納入意思の確認を行い、作付け前協議のほか現状・課題について情報共有を図り、食材の確保利用につなげた。  海産物について、通常献立での地場産品活用に加えて、市民の「魚のまち」としての意識醸成を図る事業の一環として、地元海産物（鮭と塩蔵わかめ）を使用。水産加工業者等関係者と児童による給食試食会を実施した。</p>	<p>□ 今後も各学校の実態に即して推進していく。津波だけではなく自然災害（特にも土砂災害）への意識を高めることと対策を、家庭・地域と協働し推進していく。</p> <p>□ 子どもたちが家族・地域に支えられていることや家族・地域に元気を与えていることを自覚し、そこで生きていることへの感謝と自己有用感をもてる取組を実践することで、家族・地域・郷土への誇りと愛情を育てる。</p> <p>□ 市内全小・中学校が共通して取り組むものについては、専門部会を組織して進めていく。中学校区ごとに話し合いをし、独自の取り組みも進めていく。</p> <p>□ 地場産品の情報を共有して生産者・団体、関係課と協議しながら地場産物の活用を推進していく。</p>

	<p>&lt;地場産食材利用状況&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> <tr> <td>品目数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>使用数量</td> <td>1,588kg</td> <td>1,183kg</td> <td></td> <td>2,180kg</td> <td>2,936kg</td> </tr> </table>						項目	22年度	23年度	…	28年度	29年度	品目数	3	2		8	8	使用数量	1,588kg	1,183kg		2,180kg	2,936kg	<p>□ 学校と連携して、食に関する指導や試食会、食育だより等様々な機会を活用し「食育」の推進を図っていく。</p>				
	項目	22年度	23年度	…	28年度	29年度																							
	品目数	3	2		8	8																							
	使用数量	1,588kg	1,183kg		2,180kg	2,936kg																							
<p>□ 食に関する指導 児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け食事を通して自ら健康管理ができるよう、栄養教諭等により、給食時間はもとより各教科等における食に関する指導や試食会等を活用した指導に取り組んだ。</p>																													
<p>&lt;指導実績&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>29回</td> <td>11回</td> <td></td> <td>58回</td> <td>58回</td> </tr> <tr> <td>(授業)</td> <td>11回</td> <td>6回</td> <td></td> <td>51回</td> <td>48回</td> </tr> <tr> <td>(その他)</td> <td>18回</td> <td>5回</td> <td></td> <td>7回</td> <td>10回</td> </tr> </table>						項目	22年度	23年度	…	28年度	29年度	実施回数	29回	11回		58回	58回	(授業)	11回	6回		51回	48回	(その他)	18回	5回		7回	10回
項目	22年度	23年度	…	28年度	29年度																								
実施回数	29回	11回		58回	58回																								
(授業)	11回	6回		51回	48回																								
(その他)	18回	5回		7回	10回																								
<p>□ こころのケア事業 子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応できるよう、継続的、長期的な心のケア対策を充実させるため専門職員を配置した。 【事業内容】 スクールカウンセラー（臨床心理士）が各小・中学校を巡回（県派遣2人、市非常勤職員1人）</p>						<p>□ 児童生徒の心のケアは長いスパンで継続して取り組む必要がある。今後もスクールカウンセラー等の人的環境を整えとともに、教職員の研修を実施し、組織的・長期的に取り組む体制を確立し、心のケアを推進していく。</p>																							
<p>教育関係機関等との連携を図った心のケア継続</p>																													

## 2 生活・防災拠点としての教育環境整備

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設	<p>□ 唐丹地区学校等建設事業 唐丹地区の建設工事の適正な監理に努めた。 唐丹地区学校は、全ての工事が平成30年2月に竣工し環境整備が整った。</p> <p>□ 学校環境整備事業 教育環境の改善のため、必要な維持補修を行った。 ・小佐野小学校校舎増築工事 ・双葉小学校・釜石中学校校庭内散水設備設置工事 ・小学校4校・中学校2校の保健室への空調設置 ※全校の保健室に空調設備が整った。</p> <p>□ 学校給食センター整備事業 現在ある学校給食センターと鶴住居地区仮設調理場の機能を集約した新たな共同調理場を建設するための設計業務に取り組み今年度着工に向けて事業進捗が図られた。</p>	<p>□ 適正な維持管理を行う。</p> <p>□ 適正な維持管理を行う。</p> <p>□ 基本計画を基に、調理設備や施設機能の詳細をまとめ、平成32年4月供用開始に向けた建設事業を進める。</p>
命を守る教育の推進	<p>□ いのちの教育研修会 2回/38人参加 釜石市の学校教育の目標である、「強く生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における担当教員が「いのちの教育」の重要性や今後の方向性について理解を深めることにより、防災教育を核とした「いのちの教</p>	<p>□ 教職員の人事異動により、構成メンバーの入れ替えがあっても、継続的・発展的にいのちの教育が推進されるように研修会を行っていく。</p>



育」の充実に資することを目的に研修会を実施した。  
また、各小・中学校での取り組みをまとめた「平成29年度いのちの教育実践事例集」を作成した。

【事業内容】

①第1回研修会 5.31（水）19人参加

- ・講義：釜石市の「いのちの教育」について
- ・協議：各中学校区における「9年間を見据えたいのちの教育」について
- ※「中学校区での年間計画の吟味」「実践計画」「実践交流」

②第2回研修会 2.14（水）19人参加

- ・講義：「これからの『いのちの教育』について」
- ・協議：各中学校区における「9年間を見据えたいのちの教育」について
- ※各中学校区の今年度の活動のふり返りと平成30年度の活動計画

そして、怒の精神を根幹とし、自他の命を守る子どもを育成するため、各校において、小・中9年間を見据えた「いのちの教育」の充実・改善を図り、継続的に取り組んでいくようにする。

## 基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定史跡橋野高炉跡は史跡の内容解明に取り組んだほか平成28年台風10号被害の復旧調査を行った。</li> <li>・第23回郷土芸能祭を実施したことにより、郷土芸能継承の一翼を担うことができた。</li> <li>・屋形遺跡については内容確認調査により、国指定に向けた保存・活用が一步進んだ。</li> </ul>	

取組項目	個別評価
1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定史跡橋野鉄鉱山修復・整備活用計画策定取り組んだ。また、台風10号被害状況の調査と復旧作業を引き続き行った。</li> <li>・第23回釜石市郷土芸能祭の開催が、郷土芸能継承の一助となった。</li> <li>・被災した郷土芸能団体に民間法人等の助成金を利用した用具などの整備を行った。また、山車の格納庫や用具倉庫等の整備を対象とした郷土芸能復興支援事業を実施し、郷土芸能団体の再整備化に取り組んだ。</li> <li>・屋形遺跡の国指定に向けた内容確認調査を実施し、保存・活用の準備を行った</li> <li>・埋蔵文化財に関する各種照会に対応し、復興被災者の住宅再建等に伴う試掘調査等を実施した。また、遺跡の分布調査を行い、縄文時代中期の遺跡の一部を明らかにした。</li> </ul>

### 【取組項目】

#### 1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 史跡橋野高炉跡整備事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>○国指定史跡橋野高炉跡（世界文化遺産 橋野鉄鉱山）を適切な保存管理を行うため、橋野鉄鉱山修復整備活用計画を策定した。また、従前より実施してきた範囲内容確認調査も継続して実施し、調査報告書を作成した。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>○史跡整備検討委員会の開催/3回</li> <li>○橋野鉄鉱山修復・整備活用計画策定</li> <li>○範囲内容確認調査の実施                       <ul style="list-style-type: none"> <li>遺構の三次元レーザー測量</li> <li>内容確認調査報告書作成</li> </ul> </li> <li>○台風10号被害調査及び損傷個所の復旧</li> </ul> </li> <li>□ 国史跡橋野高炉跡復旧事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>○遺構露出部の確認調査200㎡及び埋戻し                   <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年台風第10号の豪雨が御日払所西側の平坦地を流れた結果、地表が削られ、地下遺構の一部が露出した。鍛冶遺構と推定される遺構が発見された。調査後は、表土が削られた部分を含めて埋め戻した。</li> </ul> </li> <li>○石垣修復                   <ul style="list-style-type: none"> <li>遺構露出部の北辺、三番高炉の南側の石垣は、濁流が流れた際に石垣石の一部が落石したため、落石を元の位置に戻し、被災前の安定した状態に戻した。</li> </ul> </li> <li>○倒木除去                   <ul style="list-style-type: none"> <li>史跡北側に生えている樹木の一部が、平成28年台風10号の強風により根元から倒れたことから地下遺構に影響</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 橋野高炉跡の範囲内容確認調査を実施する。台風10号の被害調査と復旧作業を行う。</li> <li>□ 平成29年度に繰り越しとなった見学道復旧及び二又沢川護岸修復を進めるとともに、復旧報告書を作成する。</li> </ul>

をないよう除去した。

※林野庁により林道復旧及び二番高炉西側川岸復旧工事を実施。

- 国史跡橋野高炉跡範囲内容確認調査
  - 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画策定
  - 運搬路跡（1）測量委託
  - 範囲内容確認調査報告書3の作成 300部
  
- 橋野鉄鉱山周辺整備
  - 遊具の更新
  - 明治日本の産業革命遺産記念銘の設置
  
- 国登録有形文化財旧釜石鉱山事務所関連事業
  - 寄託されたナウマンの地質図及び世界の鉱石の企画展示を実施
  - 国道283号沿いに案内板を設置(5カ所)
  
- 鉄づくり体験事業
  - 鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。
  - 総合学習支援
    - ・鉄づくり体験 8.28(月)～29(火)/旧釜石鉱山事務所横/甲子中学校1年生
    - 〔内容〕 総合学習として「鉄の学習」に取り組んでおり、その一環として実施したもの。
    - ・鉄の歴史館、橋野高炉跡見学ほか/白山小学校
  - 鉄の検定
    - ①小中学生 11.27(月)～12.6(水)/各学校/171人参加
    - ②一般 12.1(金)/市教育センター/10人参加
    - ③表彰式 1.13(土)
      - 小中学生 1級5人、2級1人(1～3位も表彰)
      - 一般 1級2人、2級4人
  
- 近代製鉄発祥160周年、橋野高炉跡国史跡指定60周年記念事業
  - みんなの橋野鉄鉱山 清掃及び講演会 6.3(土)/100人参加
  - 橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育樹祭 11.18(土)/60人参加
  - 鉄の学習発表会 12.2(土)/イオンタウン釜石イベントスペース 白山小学校・鶴住居小学校・釜石東中が発表
  - 近代製鉄発祥160周年記念フォーラム 2.10(土)/市民ホール 記念対談、ライブ

□ 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画に基づき、平成30年度は二番高炉周辺の発掘調査及びARの作成を実施。また、運搬路跡の測量も継続する。

□ 宇宙桜を植樹する。

□ 関係各所と連携を図り、資料調査を進めるとともに、インバウンド対策として、資料キャプションの2カ国語化を進める。

□ 引き続き、「ものづくりの精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。

□ 世界遺産登録3周年、明治150年事業として継続して事業推進を図る。

<p>郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援</p>	<p>□ 郷土芸能復興支援事業 震災津波で被災した釜石虎舞をはじめ、神楽、太鼓等の団体に対して、各種団体等からの補助等の支援活動を紹介。必要に応じて、直接市からの補助金等の支出についても検討しながら、失った機材や活動場所等の確保を図った。</p> <p>○助成状況 ・文化振興基金団助成事業：東前太神楽、中村熊野神楽 ・アサヒグループ：尾崎町虎舞、中村熊野神楽</p> <p>□ 郷土芸能祭開催事業 釜石市内に伝わる無形民俗文化財の保護と活用を通じて「かおり高い文化のまちづくり」を推進するため、釜石市郷土芸能祭を開催した。</p> <p>○釜石市郷土芸能祭実行委員会の開催（4回） ○リハーサル 2.21～25/教育センター・市民ホール ○第23回釜石市郷土芸能祭 2.24（土）～25（日）9：30～16：00/市民ホール 〔観覧者〕24日 約900人 25日 約1200人</p>	<p>□ 平成30年度も各種助成金を活用して実施する。</p> <p>□ 隔年開催のため、次回（第24回）は平成31年度を予定している。</p>
<p>埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧</p>	<p>□ 埋蔵文化財保存事業 地域社会の歴史をあとづける貴重な文化遺産であり生きた学習の場を提供する埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、記録保存を行う。 各種開発行為に係る照会等に対応した。また、復興事業（区画整理事業等）や個人住宅建築等に伴い、事業予定地内に存在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の試掘調査を実施した。</p> <p>○埋蔵文化財包蔵地（遺跡数） 315遺跡 ○埋蔵文化財照会 195件 ○慎重工事 6箇所 ○立会調査 12箇所 ○試掘調査 10箇所 ○本発掘調査 0箇所 ○市内遺跡分布調査 縄文時代中期遺跡の分布調査</p> <p>□ 屋形遺跡貝塚保存活用事業 平成27年度の緊急発掘調査で出土した縄文時代の遺物（土器・石器・骨角器・貝類・魚骨類）を包含する屋形遺跡の貝塚について、専門家の意見を伺いながら、保存・活用をすすめた。</p> <p>○範囲内容確認調査 1次：9.11（月）～22（金） 2次：11.20（月）～30（木）</p> <p>□ 史跡等周知促進事業（交付金事業） 東日本大震災において被災した市指定文化財の修復を行った。</p> <p>○指定文化財修復 本郷御番所跡 着手10.20完了11.30</p> <p>□ 被災文化財調査事業（復興関連） 東日本大震災とその後の余震により、流出、倒壊、損傷した文化財については、平成24年度から被災地域の文化財の被災状況調査を実施した。平成29年度も文化財の被災の有無・現状を調査を継続したが、対象を東日本大震災に限</p>	<p>□ 復興事業及び復興に伴う個人住宅の建築を停滞させることの無いよう、全力を挙げていく。また、調査で得られた文化財やデータなどを、現地及び郷土資料館の企画展などで発表・展示し市民への周知を図る。</p> <p>□ 平成30年度は国指定史跡を目指す範囲の調査と測量を実施する。</p> <p>□ 事業にあたっては、浸水区域内の復興事業の進捗状況を勘案し、浸水区域外にある損壊した文化財、史跡等の修復にも取り組んでいく。</p> <p>□ 引き続き調査を実施する。</p>

らず風水害等によるものとし、文化財目録の洗い出しを行い、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図る。

○津波記念碑調査 3.4(土)～6(月)/市内各所

①鶴住居常楽寺内の1基所在不明

②倒壊等要修復 片岸町室浜/転倒2基、箱崎町大仮宿/転倒3基、唐丹町本郷/破損1基

○平田追分の碑について

平田地区生活応援センター敷地内に設置を調整中

□ 文化財標柱設置事業

市内に点在する文化財や伝承される文化財を、市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に標柱を設置した。

○設置個所 11か所

・奇巖亭/3か所、栗林銭座跡/8か所

□ 文化財保護事業

釜石市にある文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催して、文化財の指定等の諮問に対する答申などを受けた。

また、指定・未指定にかかわらず、被災地域を中心として文化財目録の洗い出しを行い、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図った。

○文化財保護審議会(3回)

○文化財パトロール 6.26(月)

〔参加者〕文化財保護審議委員

〔場所〕①鎌崎砲台場跡 ②本郷御番所跡

③大石の石割桜 ④女坂の一里塚

○文化財調査事業 通年/市内全域

〔内容〕市内の指定文化財の保存と維持管理、史跡の保存及び景観の保持、文化財指定の促進

・釜石市文化財保護審議会委員による調査

・各種関係団体による調査への協力

・教育委員会総務課職員による調査

〔新規指定文化財〕

なし

〔指定・登録文化財件数〕

・文化財指定件数(国・県・市)計68件

国指定文化財 2件

県指定文化財 6件

市指定文化財 60件

・国登録有形文化財(建造物) 1件

□ 文化財なんでも体感事業

市内各所に所在する文化財を活用し、市民に郷土の歴史への理解を促す。また、この事業を契機に文化財愛護思想の高揚を図る。

○栗橋めぐり 10.26(木)/8人参加

〔内容〕栗林銭座跡、明神かつら、釜石鉱山田中製鐵所栗橋分工場跡、瀧澤神社奥の院と沢松川、橋野鉄鉱山

□ 引き続き文化財標柱及び説明板を設置する。

□ 引き続き、文化財保護審議会を開催する。また、市内の文化財の掘り起こし、新規指定に取り組んでいく。

□ 引き続き史跡巡り等を実施する。

○ 教育行政に関する事項

主な項目	平成29年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
教育行政	<p>□ 教育行政の執行に当たっては、5人の委員で構成される合議制の執行機関として、毎月の定例会議のほか必要に応じて会議を招集するとともに、学校訪問の実施や各課の事務の取り組み状況の把握を行った。</p> <p>また、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を開催し適切な執行管理に努めた。</p> <p>(教育委員会議定例会) 12回開催  (教育委員会議臨時会) 3回開催  (総合教育会議) 2回開催  (委員会議以外の主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校訪問 6. 29(木)/甲子小学校、7. 5(水)/鶴住居幼稚園・釜石東中学学校、7. 12(木)/唐丹中学校</li> <li>・ 学校公開 9. 21(木)/釜石小学校、9. 29(金)/栗林小学校、11. 14(火)/甲子中学校</li> <li>・ 「いわて教育の日」記念行事への参加/ 11. 1(水)</li> <li>・ 教育研究所研究発表会/1. 10(水)</li> <li>・ 市町村教育委員会協議会教育長教育委員研修会 /2. 6(火)</li> <li>・ 入学式、卒業式、成人のつどい ほか</li> </ul> <p>□ 市民への教育行政全般に関する情報提供を行うため、「教育広報」を11月と3月に発行し、市内全戸に配布した。</p>	<p>□ 総合教育会議の充実</p>
教育振興基金寄附金	<p>□ 釜石市の教育振興と児童・生徒を応援するためにと、全国から寄附金が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 29年度寄附金8件 (内訳：団体5件 個人3件)</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 8,487千円</p>	<p>□ 釜石市教育振興基金に積み立て、その後寄附者の申し出に沿った事業に活用する。</p>

(資料)

平成29年度から組織機構の見直しにより、教育委員会の事務の一部を市長部局へ移管しました。

以下の事業は点検評価の対象とはなりません、事務の継続性を確認するため掲出しております。

基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

【取組項目】

1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果																																										
郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援	<p>□ 岩手県青少年劇場開催事業 優れた舞台芸術の鑑賞を通じて、児童の豊かな情操の涵養と健全育成に資することができた。</p> <p>○本公演 6.16(金)/小佐野小学校体育館 〔対象〕市内小学校5,6年生 426人、県立釜石祥雲支援学校児童 7人、計 433人 〔内容〕演劇「約束～大切なもの～」</p> <p>○小公演 9.27(水)/小佐野小学校体育館 〔対象〕小佐野小学校5,6年生 101人 〔内容〕古典芸能「能ってなあに？」</p> <p>□ 伝統文化こども教室事業 通年/市内 前年度に引き続き5団体で教室を開催することができた。教室の指導者養成や児童生徒、運営資金の確保が課題である。 〔対象〕市内の小学校から高等学校までの児童生徒 〔団体〕釜石市裏千家茶道子ども教室、釜石市表千家茶道子ども教室、日本将棋連盟釜石支部、釜石草月会、杵家会釜石支所</p> <p>□ 釜石市民芸術文化祭開催事業 11.3(金・祝)～5(日)/シープラザ遊 シープラザ遊での最終開催となった今回は、同一会場、同一日程で発表部門と展示部門を開催したことにより行事としての一体感があり、来場者の反応は概ね好評だった。 〔対象〕市民、釜石市芸術文化協会加入団体 〔内容〕絵画、書、切り絵、生け花等の展示、バレエ、尺八、大正琴等のステージ発表 &lt;市民芸術文化祭参加団体、入場者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="336 1402 1139 1509"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数</td> <td>32団体</td> <td>24団体</td> <td></td> <td>37団体</td> <td>39団体</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>4,817人</td> <td>1,357人</td> <td></td> <td>2,020人</td> <td>1,261人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 郷土資料館管理運営事業 通年(企画展は年2回) 釜石市郷土資料館の収蔵資料(被災資料保存事業により保存・修復処理した資料を含む)について、通年で整理・分類を行った。また、通常展示とは別にテーマを設けて企画展を行い、展示スペースの関係上、普段は未公開となっている資料が市民の目に触れる機会を作った。 〔内容〕収蔵資料の保存・管理、展示公開、データベースの整理、資料貸出し &lt;郷土資料館利用者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="336 1787 1177 1962"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td> <td>57団体</td> <td>13団体</td> <td></td> <td>76団体</td> <td>33団体</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>3,855人</td> <td>455人</td> <td></td> <td>1,314人</td> <td>563人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>4,787人</td> <td>786人</td> <td></td> <td>5,191人</td> <td>2,249人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※29年度は改修整備工事のため、H29.10.1からH30.3.31まで一時休館)</p>	年度	22年度	23年度	…	28年度	29年度	参加団体数	32団体	24団体		37団体	39団体	入場者数	4,817人	1,357人		2,020人	1,261人	年度	22年度	23年度	…	28年度	29年度	団体	57団体	13団体		76団体	33団体	個人	3,855人	455人		1,314人	563人	利用者数合計	4,787人	786人		5,191人	2,249人
年度	22年度	23年度	…	28年度	29年度																																						
参加団体数	32団体	24団体		37団体	39団体																																						
入場者数	4,817人	1,357人		2,020人	1,261人																																						
年度	22年度	23年度	…	28年度	29年度																																						
団体	57団体	13団体		76団体	33団体																																						
個人	3,855人	455人		1,314人	563人																																						
利用者数合計	4,787人	786人		5,191人	2,249人																																						

<所蔵資料件数>

8,011件（平成30年3月現在）

□ 鉄のふるさと拠点創造事業（郷土資料館改修整備事業）

郷土資料館内には、これまでトイレ等の便益施設が未整備だったことから、来訪者の利便性確保と受入態勢の充実強化を図るため、改修整備を行ったもの。なお、工事及び工事準備（館内整理）に伴い、一時休館を実施した。

〔工事期間〕 12.18（月）～3.27（火）

〔一時休館〕 10.1（日）～3.31（土）※その後、H30.5.31（木）まで展示作業のため休館。

〔内容〕 トイレの設置（男女別トイレ、多機能トイレ）、屋根補修（雨漏り対策）及び天井設置、空調設備改善（エアコン設置、断熱材施工）

## 2 スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

実施施策	平成29年度の主な取り組み内容と成果																																																																				
スポーツを通じた市民の健康づくりの推進	<p>□ スポーツ推進委員派遣事業                      スポーツ推進委員を地区行事やPTA 行事、親子レクリエーション等へ派遣することで、健康づくりとスポーツの普及を図った。</p> <p>&lt;講師派遣事業実施件数と参加者、推進委員数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="343 857 930 1003"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td> <td>9件</td> <td></td> <td>16件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>739人</td> <td>496人</td> <td></td> <td>559人</td> <td>540人</td> </tr> <tr> <td>26人</td> <td>25人</td> <td></td> <td>27人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 仮設団地等における健康支援事業                      27年度までは「被災者健康づくり事業」として実施し、28年度からは被災者支援総合交付金を活用して「仮設団地等における健康支援事業」として実施。指導員4名体制で仮設団地等を訪問し、市民の健康づくりのため健康体操教室などを行った。</p> <p>&lt;健康支援（健康づくり）事業参加者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="343 1245 930 1323"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-人</td> <td>235人</td> <td></td> <td>8,100人</td> <td>10,389人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 第43回釜石健康マラソン大会                      市民参加型のイベントであり、健康増進の一助として釜石市球技場（周辺）を会場に実施した。</p> <p>&lt;健康マラソン大会参加者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="343 1491 930 1570"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>753人</td> <td>574人</td> <td></td> <td>463人</td> <td>427人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ スポーツ施設利用状況                      &lt;スポーツ施設利用者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="343 1671 970 1749"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158,535人</td> <td>81,540人</td> <td></td> <td>148,747人</td> <td>143,975人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ スポーツ団体及びスポーツ少年団関係</p> <table border="1" data-bbox="343 1805 1198 1917"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ団体</td> <td>37団体</td> <td>37団体</td> <td></td> <td>37団体</td> <td>37団体</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団</td> <td>34団体</td> <td>34団体</td> <td></td> <td>25団体</td> <td>26団体</td> </tr> </tbody> </table>	22年度	23年度	…	28年度	29年度	23件	9件		16件	25件	739人	496人		559人	540人	26人	25人		27人	27人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	-人	235人		8,100人	10,389人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	753人	574人		463人	427人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	158,535人	81,540人		148,747人	143,975人		22年度	23年度	…	28年度	29年度	スポーツ団体	37団体	37団体		37団体	37団体	スポーツ少年団	34団体	34団体		25団体	26団体
22年度	23年度	…	28年度	29年度																																																																	
23件	9件		16件	25件																																																																	
739人	496人		559人	540人																																																																	
26人	25人		27人	27人																																																																	
22年度	23年度	…	28年度	29年度																																																																	
-人	235人		8,100人	10,389人																																																																	
22年度	23年度	…	28年度	29年度																																																																	
753人	574人		463人	427人																																																																	
22年度	23年度	…	28年度	29年度																																																																	
158,535人	81,540人		148,747人	143,975人																																																																	
	22年度	23年度	…	28年度	29年度																																																																
スポーツ団体	37団体	37団体		37団体	37団体																																																																
スポーツ少年団	34団体	34団体		25団体	26団体																																																																



<p>スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致</p>	<p>□ スポーツ施設の整備 東日本大震災により被災し、解体を余儀なくされた旧釜石市民体育館に替わる新体育館の基本設計及び実施設計の係る業務委託を実施した。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○釜石市民体育館建設工事基本設計業務委託</li> <li>○釜石市民体育館建設工事实施設計業務委託</li> </ul> <p>□ 各種イベントの開催及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○釜石ラグビィグドリーム2017 7.30(日)/市球技場/865人参加 〔内容〕釜石SW-東海大学の無料招待試合 釜石商工・釜石高校-宮古高校・宮古工業の交流試合 市内小学生チームなどによるタグラグビー交流試合</li> <li>○各種大会等への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第52回岩手県弓道釜石大会 4.30(日) 50千円</li> <li>・第35回三陸学童軟式野球大会 7.15(土)~17(月) 50千円</li> <li>・東海市スポーツ交流事業(バレーボール) 8.1(月)~3(水) 1,541千円</li> <li>・第34回全国ビーチボール競技大会 9.8(金)~9.10(日) 50千円</li> <li>・第10回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク 10.21(土) 50千円</li> <li>・第12回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会 2.18(日) 50千円</li> <li>・第8回かまいし仙人峠マラソン大会 10.28(土)~29(日) 4,300千円</li> <li>・第23回釜石はまゆりトライアスロン国際大会 9.2(土)~3(日) 1,000千円</li> <li>・第1回釜石オープンウォータースイミング2017根浜 8.5(土)~6(日) 500千円</li> <li>・第35回岩手県還暦軟式野球選手権大会 8.5(土)~7(月) 50千円</li> <li>・第51回岩手県柔道選手権大会並びに東西対抗柔道大会 10.27(金)~29(日) 50千円</li> <li>・CBS少年軟式野球「6年生選抜大会」全国大会 1.4(木)~7(日) 50千円</li> <li>・第30回昭和新山国際雪合戦大会 2.24(土)~25(日) 50千円</li> </ul> </li> </ul>
-------------------------------	--

# 「平成29年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検 ・評価調書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、3つの基本目標、その目標に係る6つの取組項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

- 1 開催日時 平成30年8月20日（月）14時55分～16時45分
- 2 会 場 釜石市教育センター 2階 教育委員会室
- 3 出席委員 柏崎 未来さん（一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校理事）  
紺野 節子さん（釜石市芸術文化協会常任理事）  
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）  
佐々木 幾子さん（釜石保育会）  
紺野 綾子さん（釜石地区小中学校長会会長）  
須藤 寛人さん（釜石市PTA連合会会長）

※欠席 なし

#### 4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ内容を確認していただき、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違う）」、「全く妥当でない（全く違う）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

#### 5 意見の概要

##### 基本目標2 絆と支えあいを大切にすまちづくり

##### (1) 安心できる子育て環境の整備

##### (2) 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と地域住民との連携・協働に関連し、小学校区では学校と地域との連携がとれているが、中学校区になると連携がうまく取れていないという声を聴く事があるので対処が必要。</li> <li>○子どもの読書活動推進事業は学校の利用が少ないので充実を図ってほしい。</li> <li>○学校支援地域本部事業について、学校側と地域とでどういう子どもを育てていくのか共通の目標を共有できるとよい。</li> <li>○鶴住居幼稚園の保育が再開され、地域の人たちも喜んでいる。平田幼稚園は認定こども園となったが、子供を安心して育てる環境づくりが大切と思うので大変良かった。</li> <li>○子供達は放課後こども教室を楽しみにしている。</li> <li>○公民館活動は、学校では実施できない様々な企画を行っているため、土日や放課後に学校以外の所で様々な体験ができています。</li> <li>○地域の公民館は頼りにされており、親しみやすい施設であるため、続けて維持していくべきと考える。</li> <li>○図書館は様々な事業を企画、実施していて素晴らしい。子供達や高校生のイベント参加は多くあるが、高齢者の参加が少ないと感じるので、その年代に合わせた</li> </ul>

	<p>事業を企画して欲しい。</p> <p>○学校支援地域本部事業は、知識や経験をもっているが、引きこもっている高齢者を地域に引き出す手段になると考えている。地域の高齢者を学校へ引き出す動きをしても良いのではないか。</p> <p>○こどものエコクラブの活動は自然とのふれあいが少ない中、非常に大事。自然に親しむ環境が少なく、生きるものに対する情感が湧かない。このような事業を行っていることは非常によい。</p>
--	--

## 基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

### (1) 地域との協働による特色ある教育活動の展開

#### (2) 生活・防災拠点としての教育環境整備

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○いのちの教育について、自分の命や他人を助けるためには、あるものを利用して命を守るのではなく、ないものから命を守るにはどうしたらいいのかという教育が必要になっていくと思う。</p> <p>○地元の農水産物について、川を遡上するサケを取るところを子どもたちに見せ、料理し、農産物も栽培させて食べさせる。調理済みのものを食べるよりも体験として実施させるとよいと思う。</p>

## 基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

### (1) 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

#### (2) スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○橋野高炉は、災害復旧が進み、道路も舗装され、見学環境としては整ってきたと思う。</p> <p>○近代製鉄発祥160年フォーラムについて内容は良かったと思うが、もう少し基本的な事をやればよかったと思う。</p> <p>○郷土芸能祭について、虎舞は地区によって顔もお囃子も違う。何と言っているのか字幕などの工夫が欲しい</p>

## 6 その他（全般を通しての意見） 特になし